

議会における都心活性化プラン（仮称）に係る意見等

広島県議会

	主な意見等
総務委員会 (平成 28 年 10 月 19 日)	・もっとしっかりと市民の意見を聞いた上で、プランを取りまとめるべきではないか。今年度とりまとめるのではなく、継続して検討をしていくことが必要ではないか。
地域魅力向上対策特別委員会 (平成 28 年 11 月 30 日)	・県域全体を発展させるエンジンとして、広島市都心部の目指す姿を描くことは、大事なことだと思うが、中四国地方の中核都市にふさわしい都心とするため、実効性のある計画にしてほしい。 ・策定後、プランを行政にどう反映させていくかが課題。また、プランの内容は不変ではなく、変わっていくものだと思うが、30 年後に向けて将来の人たちにも伝えていく必要がある。 ・紙屋町・八丁堀地区で大きな位置を占める県庁やバスセンターが老朽化している。県と市の施設をどうしていくのか、先導的に考えていかないと民間もついてこないのではないかと。

広島市議会

	主な意見等
第 7 回都市活性化対策特別委員会 (平成 28 年 11 月 22 日)	・どういうまちにしていくかは、市民が決めることである。しっかり市民の意見を聴きながら策定を進めてほしい。